

偕行現代考

eスポーツは

スポーツ？

井上 廣司 陸自72

今年9月28日から10月8日まで開催された第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」において、国体の文化プログラムとして初めてeスポーツの大会「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 IBARAKI」が実施された。

eスポーツとは、エレクトロニック・スポーツの略でコンピュータゲーム（ビデオゲーム）をスポーツ・競技として捉える際の名称である。最近、ビデオゲームを使った対戦をeスポーツ競技として捉えるeスポーツが盛り上がりつつあり、この新しいスポーツをオンラインピック種目に加える可能性を含め、世界中でさまざまな大会が開かれるなどeスポーツ市場が伸長している。

中には優勝賞金が10億円を超える大会もある。現在プロフェッショナルeスポーツの競技会として広く認められている大会は8つ存在する。それぞれ大会で用意される賞金は大きなコンピュータ技術系企業がスポンサーとして提供しているものが多い。またこれらの企業は同時に多くのeスポーツ

チームのスポンサーも行っており、大会への旅費、その会社の製品の提供などを賄っている。

観戦して楽しむこともeスポーツの主たる娯楽性のひとつであり、eスポーツをスポーツとして楽しむひとつの要素でもあるとの意見もあるが、体を動かすのがスポーツだという認識を持つている人にとっては、「本当にスポーツか？」という声も根強い。

それでもeスポーツは広がりを見せ、観戦者は世界で4億人以上、市場規模1000億円を越えようとしている。

プロフェッショナルなeスポーツ大会がテレビを通じて放送されるなどする国もあるが（韓国では、世界で唯一のeスポーツ専門チャンネル「OGN」がある）、ウェブサイト上のストリーミング放送やゲームクライアントに実装された観戦機能がライブ放送に利用されることが主である。

また、雑誌・新聞などの各メディアによる報道が行われたり、評価の高いシーンを映像加工などによって印象的に編集したムービーなどが後に配信されることも多い。国内でも、規模の大きくない大会ではストリーミングやムービーの配信が行われている。

このように、さまざまなメディアを通じて、営利・非営利を問わず気軽に配信され、観戦者のニーズに応じた手段で楽しむことができるのがeスポー

ツ観戦の特徴である。

日本においては法律上の問題で賞金制の大会の開催が制限されており、国内での賞金付き大会に関しては、賞金や賞品が高額の場合には不当景品類及び不当表示防止法に抵触するとの指摘がある。そのため主催者やゲームデベロッパーなどと利害関係にない第三者がスポンサーとなる、プレイが基本無料で課金要素が結果に影響しないタイトル、などの条件が必要となる。

国際競技連盟である国際eスポーツ連盟は五輪業界入りを目指している。2018年、アジア競技大会がインドネシア・ジャカルタで行われ、公開競技としてeスポーツも行われた。こうした動きからオンラインピックにeスポーツを検討か？等の噂が報じられ、将来検討の俎上に乗る可能性もある。

ただ、イベントを見学した国際オリンピック委員会（IOC）会長のトーマス・バハ氏は、「eスポーツはオリンピックの価値観に矛盾しており現状では受け入れることはできない」との発言をしており、簡単ではない。

世界保健機関（WHO）も今年ゲーム依存症への警告を鳴らしたばかりであるが、現在のデジタル時代の一つの現象として多くの可能性を秘めて拡がりだしていることは否定できない。埼玉県では、世界初のシルバーeス

ポーツ協会が発足した。日本初のテレビゲームとして一世を風靡した「スペースインベーダーゲーム」が誕生して約40年、現在のシニア世代は、インベーダーゲームを体験している世代であり、eスポーツ選手として即戦力の活躍が期待されている。

人生100年時代に生きるシルバー世代が気軽に取り組め、頭脳の活性化をはかれる健康増進長寿スポーツとしての役割が与えられるかも知れない。

今業界で話題になっているシニアのeスポーツチームがある。一つがフィンランドの「グレイ・ガナーズ」で、チームの平均年齢約77歳である。もう一つが、スウェーデンの「シルバー・スナイパーズ」で平均年齢約70歳である。彼らのモットーが面白い。「時間だけは殺すほどある」というものだ。

彼らは「老人がハトの餌やりやお店のクーポン集めばかりやっていると思うな」「集中力や状況判断があがった。実際に車の運転にも役に立った」「障害を持ち外に行けなくても自宅で楽しむ、世界に友人を見つけれられる。孤独な人は大勢いる。ゲームは敵ではなく、それをどう使うかだと思おう」と言う。彼らの言葉をどう聞けばよいのだろうか。

私も70歳になった。運転免許証の返納に悩むよりeスポーツで頭を活性化してみようかと考えている。